

平成28年度

理 工 学 研 究 科 博 士 前 期 課 程
学 生 募 集 要 項

機 械 工 学 専 攻
電 気 電 子 工 学 専 攻
メ デ イ ア 通 信 工 学 専 攻
情 報 工 学 専 攻
都 市 シ ス テ ム 工 学 専 攻
知 能 シ ス テ ム 工 学 専 攻

茨 城 大 学 大 学 院

茨城大学大学院理工学研究科アドミッションポリシー

本学理工学研究科では下記に掲げるよう (1) のような人を受験生に求め、(2) のような人在学中に育成し、そして修了後 (3) のように社会で役立つ人を求めます。

- (1) 特定の分野における学士レベルの基礎及び専門知識が十分にあり、向上心及び知的好奇心が高い人
- (2) 理工学の諸課題に挑戦し、自然分野の知識や情報を体系的に組み立てながら、問題を評価かつ解決していく技術や研究能力を高めようとする人
- (3) 創造性と実行力を併せもつ高度専門技術者・研究者として、自然環境と調和した人間社会の持続的発展に貢献しようと志す人

案 内

平成28年度の改組により、茨城大学大学院理工学研究科博士前期課程は、理学専攻（数学・情報数理系、物理系、化学系、生物系、地球環境系の5系）と工学系の6専攻（機械工学、電気電子工学、メディア通信工学、情報工学、都市システム工学、知能システム工学）、並びに理工融合の量子線科学専攻で構成される予定になっています。

本研究科博士前期課程は、広い視野にわたって精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うことを目的とし、その修業年限は通常2年です。

また、博士後期課程は、現在、物質科学、生産科学、情報・システム科学、宇宙地球システム科学、環境機能科学、応用粒子線科学の計6専攻ですが、平成28年度の改組により量子線科学専攻、複雑系システム科学専攻、社会インフラシステム科学専攻の3専攻で構成される予定です。その修業年限は通常3年です。

過去の入試問題については、理学部入試係（理学専攻）または、工学部入試係（工学系7専攻）において閲覧することができますので、お問い合わせください。

※ 1 理学専攻及び量子線科学専攻は工学系各専攻とは別冊子となります。

(※ 1 Major in Science and Major in Quantum Beam Science are in the another booklet.)

※ 2 外国人留学生特別入試は別冊子となっており ますので、工学部入試係にお問い合わせください。

(※ 2 The foreign students special selection is in the another booklet.

Please refer to Admission Office of the College of Engineering.)

目 次

I. 理工学研究科専攻別募集人員	1
II. 推薦入試・一般入試・社会人入試	
出願資格	2
出願手続	3
選抜方法・合格者発表等	7
III. 入学資格の個別審査について	10
IV. 個人成績の情報開示について	11
V. 主要教育研究分野及び担当教員	12
VI. 入学案内	20

[出願書類（本学指定様式）]

入学志願者名票
受験票・写真票
推薦書
志望理由書
入学資格個別審査申請書
経歴書
入学希望理由書
宛名票
振込依頼書

個人情報の取扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）に則り、出願書類等により志願者から提出された個人情報については、本学入学者選抜に係る用途にのみ使用し、他の目的に利用、または提供することはありません。

I. 募集人員

専攻	系または分野	募集人員		
		推薦入試	一般入試	社会人入試
機械工学	設計工学分野 生産技術工学分野 エネルギー工学分野 ※動力エネルギー・システム分野	11名	22名	若干名
電気電子工学	電子基礎工学分野 電磁システム工学分野 ※光通信工学分野	12名	13名	若干名
メディア通信工学	メディアシステム学分野 メディア機能工学分野	10名	11名	若干名
情報工学	情報工学分野	7名	16名	若干名
* 都市システム工学	都市システム工学コース サステイナビリティ学コース	7名	15名	若干名
知能システム工学	知能機械システム分野 知能生産システム分野 知能情報システム分野	15名	15名	若干名

- 備考 1. 一般入試の募集人員には、各専攻とも特別入試の募集人員を含みます。
 2. (※)印の系には連携大学院方式が含まれ、※印は連携大学院方式の分野を示します。
 3. 欠員が生じた場合は、第2次募集を実施します。
 4. * サステイナビリティ学コースは、都市システム工学専攻の合格者の中から若干名選抜します。

II. 推薦入試・一般入試・社会人入試

《 出願資格 》

1. 推 薦 入 試

次のいずれか一つに該当し、学業成績が優秀で大学院における勉学や研究に意欲があり、在学する大学（学部）もしくは高等専門学校の長又は指導教員が責任をもって推薦できる者

- (1) 大学を平成28年3月までに卒業見込みの者
- (2) 高等専門学校の専攻科を平成28年3月修了見込みの者で、大学評価・学位授与機構から学士の学位を平成28年3月までに授与される見込みの者

2. 一 般 入 試

次のいずれか一つに該当し、かつ平成25年8月1日以降にTOEIC又はTOEFLの試験を受験した者

- (1) 大学を卒業した者及び平成28年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条4項の規定により、学士の学位を授与された者及び平成28年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成28年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成28年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成28年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成28年3月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院において、本大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者（P. 10「入学資格の個別審査について」を参照）
- (9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成28年3月31日までに22歳に達する者（P. 10「入学資格の個別審査について」を参照）

3. 社 会 入 試

出願時に2年以上の研究あるいは科学・技術関係職務経験を有し、所属長の推薦を受けることができ、平成25年8月1日以降にTOEIC又はTOEFLの試験を受験した者で、次のいずれか一つに該当する者。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条4項の規定により、学士の学位を授与された者及び平成28年3月までに授与される見込みの者
- (3) 文部科学大臣の指定した者
- (4) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成28年3月31日までに22歳に達する者（P. 10「入学資格の個別審査について」を参照）

≪ 出願手続 ≫

1. 出願期間及び方法

下記期間に郵送又は持参により手続を行ってください。

持参する場合 受付時間：10：00～11：45 及び 13：00～16：00

郵送の場合 必ず書留速達郵便とし、期間内必着とします。

試験区分	推 薦 入 試	一般入試・社会人入試
出願期間	平成27年 7月28日(火) ～ 平成27年 7月31日(金)	平成27年 9月 1日(火) ～ 平成27年 9月 4日(金)

2. 出願書類提出先及び問い合わせ先

茨城大学工学部入試係 〒316-8511 日立市中成沢町4-12-1 電話：0294-38-5010

3. 教育研究内容等の確認

必ず出願前に志望する専攻の担当教員へ連絡を取り、教育研究内容等を確認してください。

教育研究内容については、各専攻の「主要教育研究分野」及び「担当教員」で確認してください。

各教員の問い合わせ先：<http://www.gse.ibaraki.ac.jp/research/staff/master/index.html>

4. 出願書類等

出願書類等	摘要
入学志願者名票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。
受験票・写真票	本学所定の用紙に必要事項を記入し、写真（縦4cm×横3cm、正面半身無帽で、出願前3か月以内に撮影したもの）を貼付してください。
振替払込受付証明書 又は収納証明書 (検定料)	<p>検定料30,000円</p> <p>次の①～③のいずれかの方法で納入し、納入後に発行される「振替払込受付証明書」又は「収納証明書」を提出してください。</p> <p>①金融機関の窓口で納入する場合</p> <p>ア. 別添の払込用紙を最寄りの金融機関に持参して納入してください。 郵便局、銀行、信用金庫、農協などの全国の金融機関窓口で納入できます。</p> <p>イ. 振替払込受付証明書（お客様用）と振替払込請求書兼受領証は、金融機関の受領印があることを確認の上、受け取ってください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>○必ず金融機関窓口にて納入してください。 ※ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。</p> <p>○『振替払込受付証明書（お客様用）』は、他の出願書類と併せて提出してください。 なお、『振替払込請求書兼受領証』は本人控ですので、提出する必要はありません。受験票が手元に届くまで大切に保管しておいてください。</p> <p>○払込用紙の「通信欄」、「ご依頼人」等欄の「№」は受験番号ではありません。</p> </div> <p>②コンビニエンスストアで納入する場合</p> <p>ア. 「コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照の上、納入してください。</p> <p>イ. 納入後は、必ず「取扱明細書」又は「取扱明細書兼領收書」を受け取ってください。</p> <p>ウ. 「取扱明細書」または「取扱明細書兼領收書」に印字されている「収納証明書」を切り取り、提出してください。</p> <p>エ. <u>出願期間最終日の納入受付時間は15時まで</u>となりますので、ご注意ください。</p> <p>③クレジットカードで納入する場合</p> <p>ア. e-apply（イーアプライ）ホームページ (http://e-apply.jp/e/ibaraki-gs/) にアクセスし、納入手続きを行ってください。</p> <p>イ. 手続き完了後、支払完了後に送信されるメールに記載のあるURLよりアクセスし、PDFファイルをダウンロードの上、「申し込み明細」をプリントアウトしてください。</p> <p>ウ. 「申し込み明細」に印字されている「収納証明書」を切り取り、提出してください。</p> <p>エ. <u>出願期間最終日の納入受付時間は15時まで</u>となりますので、ご注意ください。</p> <p>【注意事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 納入時の手数料は、志願者負担となります。 出願書類受理後は、振込済の検定料は返還できません。 ただし、検定料を払い込んだが出願しなかった場合又は誤って二重に振り込んだ場合は、返還請求ができますので、下記に申し出てください。なお、返還される金額は、振込手数料を差し引いた金額となります。 <p style="text-align: center;"><u>茨城大学財務部財務課経理グループ（電話 029-228-8561）</u></p> <ol style="list-style-type: none"> コンビニエンスストア及びクレジットカードで納入する場合の操作方法等については下記にお問い合わせください。 <p style="text-align: center;"><u>(株)ディスク「学び・教育」出願・申込サポートセンター</u> <u>（電話 0120-708898）</u></p>

出願書類等	摘要
学業成績証明書等	<p>出身大学（学部）長又は校長が作成し、巻封したもの。</p> <p>高等専門学校の専攻科を修了した者及び修了見込みの者は「高等専門学校の学業成績証明書」を併せて提出してください。</p> <p>1) 入学資格の個別審査により出願資格を得た者は、提出を省略することができます。 2) 本学工学部卒業見込みの者は、提出を省略することができます。</p>
卒業（見込）証明書 又は 修了（見込）証明書	<p>出身大学（学部）長又は校長が作成したもの。</p> <p>1) 入学資格の個別審査により出願資格を得た者は、提出を省略することができます。 2) 本学工学部卒業見込みの者は、提出を省略することができます。</p>
学士の学位授与（申請）証明書	<p>大学評価・学位授与機構から学士の学位が授与された旨明記されたもの。又は同機構に学士の学位授与の申請をしており、その旨明記した証明書（様式任意）を出身大学長又は校長が作成したもの。</p> <p>（出願資格（2）に該当し、短期大学若しくは高等専門学校を卒業した者又はこれに準ずる者が提出する書類です。）</p>
住民票 【外国籍の者のみ】	<p>市区町村長が交付したもの。国籍、在留資格及び在留期間が明記されたものを提出してください。</p> <p>出願書類に記入する氏名は、住民票記載のものと同一にしてください。</p>
受験票等送付用封筒 (長形3号封筒)	<p>郵送の場合</p> <p>本学所定のものに、送付先（郵便番号・住所・氏名）を明記のうえ、郵便切手（362円分）を貼り付けてください。</p>
宛名票	<p>本学所定のものを使用し、必要事項を記入してください。</p> <p>（入学手続書類は2月下旬送付予定です。）</p>
推薦書 【本学所定の用紙】	<p>推薦入試においては、在学中の大学（学部）長、高等専門学校長又は指導教員が作成したもの。</p> <p>社会人入試においては、勤務先の所属長が作成したもの。</p>
受験承諾書 【企業等に在職中の者のみ】	企業等に在職中の者は、所属長の承諾書（様式任意）を提出してください。
TOEIC又はTOEFLのスコアシート 原本と写し	<p>下記の①、②、③いずれかの原本及び写し</p> <p>① TOEIC公開テストのOfficial Score Certificate（公式認定証） ② TOEFL-iBTのExaminee Score Report（受験者用控のスコア票） ③ TOEFL-PBTのExaminee Score Report（受験者用控のスコア票）</p> <p>なお、スコアシートは平成25年8月1日以降の試験を受験したものに限ります。</p> <p>出願書類を持参する場合は、これらのスコアシート原本は返却します。</p> <p>また、郵送での出願の場合には、原本を受験票とともに返却します。</p> <p>※郵送での出願において、スコアシートの返送を簡易書留で希望する場合には、672円分の郵便切手を受験票送付用封筒に貼り付けてください。</p> <p><u>※TOEIC-IPテスト、TOEFL-ITP等の団体特別受験制度によるスコアは認めません。</u></p>
志望理由書 【本学所定の用紙】	社会人入試において、1,200字以内で志願者本人が記載したもの。

必要出願書類一覧 ●は必ず提出する書類、○は該当者のみ提出する書類です。

出願書類等	推薦入試	一般入試	社会人入試
入学志願者名票	●	●	●
受験票・写真票	●	●	●
振替払込受付証明書	●	●	●
学業成績証明書等	○※	○※	●
卒業(見込)証明書 修了(見込)証明書	○※	○※	●
学士の学位授与 (申請)証明書	○ 出願資格(2)に該当する者 のみ	○ 出願資格(2)に該当する者 のみ	○ 出願資格(2)に該当する者 のみ
住民票	○ 外国籍の者のみ	○ 外国籍の者のみ	○ 外国籍の者のみ
受験票等送付用封筒	○ 郵送での出願者のみ	○ 郵送での出願者のみ	○ 郵送での出願者のみ
宛名票	●	●	●
推薦書(推薦入試用)	●	—	—
推薦書(社会人入試用)	—	—	●
受験承諾書	—	○ 企業等に在職中の者のみ	—
TOEIC又はTOEFLの スコアシート 原本と写し	—	●	●
志望理由書	—	—	●

※ 本学工学部卒業見込みの者は提出を省略できます。

5. 出願上の注意事項

- (1) 出願手続き後の提出書類の内容変更は認めません。
- (2) 一度受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- (3) 提出すべき書類の中には、発行機関において日数を要するものがあるので、早めにご用意ください。
特に、TOEIC・TOEFLのスコアシートの入手は、受験後、数週間かかるのでご注意ください。

6. 障害等のある入学志願者の事前相談

障害等のある者で、受験上及び就学上の配慮を必要とする者は、出願前に工学部入試係にご相談ください。

« 選抜方法・合格者発表等 »

~ 推薦入試 ~

選抜方法

面接（口頭試問を含む）結果、学業成績証明書及び推薦書の内容を総合して選考します。

[面接日時及び試験場]

専 攻	日時・試験場	平成27年8月18日(火)	試験場
		10:00~	
機 械 工 学	面接 (口頭試問を含む)		茨城大学工学部 日立市中成沢町4-12-1
電 気 電 子 工 学			
メ デ ィ ア 通 信 工 学			
情 報 工 学			
都 市 シ ス テ ム 工 学			
知 能 シ ス テ ム 工 学			

合格者発表

平成27年8月31日(月) 13:00(予定)

工学部構内に掲示するとともに合格者あてに合格通知を郵送します。

~ 一般入試 ~

選抜方法

(1) 学力検査、TOEIC又はTOEFLのスコア、面接及び学業成績証明書の内容等を総合して選考します。

(2) 学力検査は、基礎科目及び専門科目に関する筆記試験によって行います。

(3) TOEIC又はTOEFLのスコアの換算方法は、P. 8参照。

[日程及び試験場]

専 攻	日 程	試 験 場
工学系各専攻	平成27年9月29日(火)	茨城大学工学部 日立市中成沢町4-12-1

[試験日程]

専 攻	学 力 檢 査		面 接
機 械 工 学 専 攻	材料力学 他 9:30~11:30	数 学 12:30~14:00	14:30~
電 气 電 子 工 学 専 攻	電気磁気学・電気回路 9:30~12:30		13:30~
メ デ ィ ア 通 信 工 学 専 攻	電気磁気学・電気回路 9:30~11:30	数 学 12:30~14:00	
情 報 工 学 専 攻	アルゴリズムとプログラミング 9:30~11:30		13:00~
都 市 シ ス テ ム 工 学 専 攻	数 学 9:30~11:30		13:00~
知 能 シ ス テ ム 工 学 専 攻	数 学 9:30~11:30		13:00~

※面接は各専攻ごとに行います。

[学力検査科目の出題内容]

専 攻	学 力 檢 査 科 目
機 械 工 学 専 攻	材料力学、機械力学、熱力学、流体力学
	数学（微分積分、微分方程式、線形代数、複素解析）
電 気 電 子 工 学 専 攻	電気磁気学・電気回路
メ デ ィ ア 通 信 工 学 専 攻	電気磁気学・電気回路
	数学（微分積分、線形代数、確率（統計は除く）、フーリエ解析、微分方程式）
情 報 工 学 専 攻	アルゴリズムとプログラミング
都 市 シ ス テ ム 工 学 専 攻	数学（微分積分、線形代数、確率・統計）
知 能 シ ス テ ム 工 学 専 攻	数学（線形代数、微積分、微分方程式、複素解析）

[配点]

専 攻	科目名	配 点	科目名	配 点	科目名	配 点
機 械 工 学 専 攻	TOEIC 又は TOEFL のスコア	100	材料力学他	400	数 学	100
		100	電気磁気学他	300	—	—
		100	電気磁気学他	200	数 学	100
		100	アルゴリズムと プログラミング	300	—	—
		100	数 学	100	—	—
		100	数 学	100	—	—

TOEIC、TOEFL のスコアは下記の方法によって換算します。

[TOEIC]

- ① 730点以上の場合：換算点 = 満点
- ② 730点未満の場合：換算点 = 満点 × (TOEIC のスコア) / 730

[TOEFL]

TOEFL-PBT のスコアを以下の計算式にてTOEIC スコアに換算後、TOEIC のスコアと同様の方法で換算点に計算。

$$(TOEIC \text{ のスコア}) = ((TOEFL\text{-PBT} \text{ のスコア}) - 296) \times 2.874$$

TOEFL-iBT のスコアはTOEFL 「Score Comparison Table」に基づきTOEFL-PBT のスコアに換算し、上記と同様な方法で換算点を計算。

～社会人入試～

選抜方法

面接（口頭試問を含む）結果、学業成績証明書、TOEIC又はTOEFLのスコア及び推薦書の内容等を総合して選考します。

TOEIC又はTOEFLのスコアの換算方法は、P. 8を参照

[面接日時及び試験場]

専攻	日時・試験場	試験場
	平成27年9月29日(火)	
機械工学専攻	9：30～ 面接 (口頭試問を含む)	茨城大学工学部 日立市中成沢町4-12-1
電気電子工学専攻		
メディア通信工学専攻		
情報工学専攻		
都市システム工学専攻		
知能システム工学専攻		

※面接は各専攻ごとに行います。

合格者発表

平成27年10月13日(火) 13:00(予定)

工学部構内において掲示にて発表するとともに、合格者あてに合格通知を郵送します。

第2次募集

専攻によっては、第2次募集を実施することがあります。

詳細は10月下旬以降に工学部入試係、あるいは本学のホームページで確認してください。

注意事項

- (1) 受験者は、試験当日必ず「受験票」を携帯してください。
- (2) 学力検査のうち指定された科目を1科目でも受験しなかった場合、又は面接を受験しなかった場合は、合格者判定の対象となりません。
- (3) 電話等による合否の問い合わせには、一切応じていません。

III. 入学資格の個別審査について

一般入試出願資格(8)、(9)、社会人入試出願資格(4)のいずれかに該当し、個別審査（入学資格審査）を受けることができる者は次のとおりとします。

入学資格の個別審査を受けることができる者

- ① 短期大学、高等専門学校及び専門学校の卒業者など大学編入学資格を有する者で、更に短期大学又は高等専門学校の専攻科等における学習歴を有している者又は一定の実務経験を有している者
- ② 大学編入学資格を有していない専修学校・各種学校の卒業者やその他の国内外の教育施設の修了者等で、実務経験等を通じ専門分野について一定の資質・能力を有している者

○入学資格の個別審査は下記のとおりです。

1) 提出書類

- (1) 入学試験入学資格個別審査申請書（本学所定の用紙で顔写真が貼付されたもの）
- (2) 経歴書（本学所定の用紙）
- (3) 入学希望理由書（本学所定の用紙）
- (4) 最終学校の卒業（修了）証明書（生年月日の記載されたもの）
- (5) 最終学校の学業成績証明書（出身大学（学部）長又は校長が作成し厳封したもの）
- (6) 返信用封筒（長形3号、362円分郵便切手（速達料金含む）貼付）

2) 申請手続

（1）申請期間および方法

申請期間：平成27年7月28日（火）～7月31日（金）

申請方法：持参又は郵送により申請してください。

持参する場合 受付時間：10:00～11:45 及び 13:00～16:00

郵送の場合 必ず書留速達郵便とし、期間内必着とします。

（2）申請書提出先

茨城大学工学部入試係 〒316-8511 日立市中成沢町4-12-1

3) 個別審査の結果通知

平成27年 8月 7日（金）に本人宛に速達郵便で通知します。

4) 個別審査における審査方法

最終学校の学業成績・経歴書・入学希望理由書等を総合的に審査し、決定します。

5) 入学資格を認められた場合は、出願手続きができます。

6) 個別審査に関する問い合わせ先

茨城大学工学部入試係 電話 0294-38-5010

IV. 個人成績の情報開示について

理工学研究科博士前期課程入学試験の個人成績を、下記により受験者本人に限って開示します。なお、合格者には開示しません。

1. 申込期間等

平成27年11月 2日（月）から11月30日（月）まで 9:00～17:00（土・日曜日及び祝日を除く。）

2. 申込者

受験者本人に限ります。（代理人は不可）

3. 申込方法

次の書類を持参のうえ来学し、所定の申請書により申し込んでください。

- ①本学の受験票
- ②本人確認のできる書類（学生証、免許証、パスポート等）
- ③返信用封筒（長形3号／12.0cm×23.5cm）※郵送希望の場合

申込者の住所・氏名・郵便番号を明記の上、512円分郵便切手（書留料金を含む）を貼り付けてください。

なお、電話・郵便等での申し込みは受け付けておりません。

4. 申込先

茨城大学工学部入試係 日立市中成沢町4-12-1

5. 開示方法

受験者本人あてに、後日入試窓口にて手渡しまたは書留郵便で送付します。

6. 開示内容

【評価】不合格者には、段階別（3段階）に区分して開示します。

ただし、各募集単位の不合格者（欠格者は含まない）が5人未満の場合は開示しません。

【得点】開示しません。

【順位】開示しません。

V. 主要教育研究分野及び担当教員

【主要教育研究分野】

専攻	主な教育研究分野	内容
機械工学	機構学 設計工学 材料工学 弹性力学 計算力学 材料强度学 原子力材料工学	工学全般において、今後いっそう高精度化や高性能化が進展すると考えられ、それを支える機械工学の役割はさらに重要となる。機械工学の基盤となる設計の基礎と多方面への応用技術に関する研究と教育。
生産技術工学	機械製作学 塑性加工学 機械材料工学 微小機械加工学 機械力学学 制御工学 メカトロニクス 医用製作学 医用生体工学	機械工学分野の製品は、すぐれた生産システムによってその品質の優秀さが保たれ向上が図られる。生産のための伝統的技術の高度化、創造的技術開発、生産管理、生産設備のシステム化、知能化等の分野にわたる研究と教育、また、バイオメカトロニクスなどの学際的工学分野の研究と教育。
エネルギー工学	熱工学 流体力工学 燃焼工学 熱機関工学 エネルギー変換工学 伝熱工学 流体機械学 燃料工学	産業界を支える根源は、いつの時代にあってもエネルギーである。そのもともと基本をなす熱、流体のエネルギーの有効利用についての研究と教育。
[連携大学院方式] 動力エネルギー システム	原子炉熱工学 エネルギー材料学 核融合エネルギー工学	軽水型原子炉あるいは次世代型原子炉における熱流動現象や構造物の振動や強度特性の理解と、原子炉の安全性を高める技術開発に関する研究と教育。また、将来のエネルギーとして期待されている核融合炉の開発に向けた炉構造健全性工学の研究と教育。

専攻	主な教育研究分野		内容
電気電子工学専攻	電子基礎工学		電磁界理論 確率システム解析 光エレクトロニクス 半導体と集積回路 信号処理 非線型工学 超伝導エレクトロニクス
	[連携大学院方式] 光通信工学		光デバイス 光通信システム
	電磁システム工学		電力システム パルスパワー工学 電気・機械エネルギー変換 核融合工学 デジタル計算機制御 電磁場解析 形式化数学 パワーエレクトロニクス アンテナ工学
	メディアシステム学		画像工学 知能工学 情報認識工学 生体情報処理工学 レーザ工学
	メディア機能工学		情報通信工学 ワイヤレス工学 光通信工学 計測工学 電子回路工学 情報ストレージ工学
			電気電子工学の基礎となる電磁界理論に関する研究と教育、また電気電子システムを解析あるいは構築する理論的な教育と研究。コンピューターや通信機器に用いられている半導体素子や集積回路に関する研究と教育、さらに通信システムの速度と容量を飛躍的に拡大させる光エレクトロニクス、超伝導エレクトロニクス、および信号処理技術に関する研究と教育。
			光通信システムを構成する諸技術（光ファイバー、光部品、光計測等）と通信方式およびネットワーク構成に関する研究と教育。
			エネルギー輸送の基盤である電力システム、および電力を時空的に圧縮して新しい工学応用の開発を目指すパルスパワー技術に関する研究と教育、また産業界に不可欠で電動機に代表される電気・機械エネルギー変換技術に関する研究と教育。夢のエネルギー源である核融合工学に関する研究と教育、また大型の産業および研究システムを制御する計算機制御技術に関する研究と教育。
			文字、音、画像などの人工環境とそれを取り扱う人間との調和が可能な多元インターフェースに関する教育研究、視覚、聴覚、触覚などの五感における情報処理と、その音声認識、パターン認識などへの応用に関する教育研究、レーザとそれを応用した計測及び情報処理技術に関する教育研究。

専攻	主な教育研究分野		内容
情報工学生専攻	情報工学 アルゴリズム論 ソフトウェア基礎学 情報ネットワーク オートマトン ソフトウェア工学 データベース 機械学習 人工知能 情報セキュリティ 並列分散処理 マルチメディア 信号解析 通信の方式と理論 画像・空間解析		増大する高度な情報処理要求に対応するための、プログラミング、言語処理、アルゴリズムの解析、計算量の理論、計算機言語論等の計算機科学の基礎理論およびプログラミング言語処理、プログラミング方法論、ソフトウェア工学、システムプログラム、シミュレーション等のソフトウェア開発に関する先進技術についての研究と教育。 近年ますます重要になっている複雑多様な情報処理システムの確立のための、人工知能手法、並列分散処理の開発、情報セキュリティ、人間一機械系におけるヒューマンインターフェース、信号解析と通信方式、画像解析及び空間情報処理、ならびにWeb応用システムに関する先進技術についての研究と教育。
都市システム工学生専攻	都市システム工学コース 構造力学 水理学 土と地盤の力学 土木材料工学 構造物設計学 建設マネージメント学 地震工学 海岸工学 土木計画学 社会基盤システム工学 環境工学 防災工学 都市空間設計 空間情報工学 建設意匠		都市システムを構成する要素である個別構造物を、力学的、経済的合理性のもとに建設するために必要な学問技術体系について、その基礎となる力学、建設材料の物性的、力学的特性、諸構造物の設計法、地震、流水、波等外力となる自然現象の解明、建設を効率的に行うための施工法や建設マネージメント等を主要な分野とする研究と教育。 安全で、豊かで、人が創造性を發揮し得る総合的な環境を形成するためには都市システムの創り方、すなわち、その特性、構成、機能運用についての把握が重要である。対象となる社会経済現象の分析、総合的な都市システムの計画論と管理・運用論土地利用、交通、都市情報、環境、防災等の主要サブ・システムに関する現象理解と機能計画、景観等の空間環境形成のための空間設計やデザイン技法を主要な分野とする研究と教育。
サステイナビリティ学コース			サステイナビリティの幅広い観点から持続可能な社会の形成に貢献できる、建設工学、都市システム計画分野の教育と研究。特に、環境・社会・人間システムの相互関係を俯瞰し、環境と経済の調和や温暖化対策といったグローバルな課題と地域社会の課題を双方向的に解決するための教育と研究。

専攻	主な教育研究分野		内容
知能システム工学専攻	知能機械システム	システム解析 システム制御 システム最適化 複雑システム ロボット工学	ロボットの動作機能、センシング・知的機能とメカトロニクスを駆使し、人や自然界に生きる動物、さらにそれらに勝る能力をハード・ソフトの両面で実現するような知能ロボット工学とメカトロニクス技術について研究・教育する。
		構造設計学 生産加工システム学 精密加工学 材料物性学 弾塑性強度学	高精度で確実かつ安定して動作するメカを設計し製造するための理論と技術、および高性能な製品を生産する構造機能設計を実現し、使用素材の物性と強度評価・加工技術の知能化とシステム化に関する手法について研究・教育する。
	知能情報システム	CAD・CAM・CAE 数値流体力学 脳型情報処理 知的情報処理 システムシミュレーション	複雑かつ膨大なデータを高速かつ効率的に処理する計算手法の理論と技術、および物理現象や社会システム、人の認知プロセスなどを捉えたモデルの構築とシステムを知能化する手法について研究・教育する。
共通講座	工学基礎	応用数学 応用物理学 数理情報工学 放射線工学	現代工学技術のソフト面における基盤を形造る計算機科学、情報科学の基礎となる数学（解析学、関数解析学）と情報数理（離散数学、数値計算法）の研究と教育。コンピュータを用いた物理教育、化学（生物化学）の研究と教育。外国人留学生のための技術日本語の教育。応用原子科学の基盤となる放射線工学。

【担当教員】

専攻	分 野	職 名	氏 名	担当分野（講義又は研究）
機械工学生	設 計 工 学	教 授	関 東 康 祐	計算力学、破壊力学
		〃	堀 辺 忠 志	弾性力学、計算力学、き裂の逆解析
		准教授	道 辻 洋 平	機構ダイナミクス学、鉄道車両のダイナミクスと制御、自動車のITSに関する研究
		〃	車 田 亮	機械材料工学、材料特性評価
		講 師	今 村 仁	非線形振動、力学系理論、ハイブリッドシステム
		助 教	森 孝 太 郎	材料力学、スマートマテリアル
	生 産 技 術 工 学	教 授	伊 藤 吾 朗	塑性加工、熱処理、機械金属材料、水素社会用金属材料
		〃	増 澤 徹	バイオメカトロニクス、医用生体工学、人工心臓
		〃	近 藤 良	制御工学、制御理論、ロボット工学
		〃	倉 本 繁	金属加工、材料設計、構造用金属材料
		〃	伊 藤 伸 英	ナノ表面加工、環境調和型加工法
	エ ネ ル ギ 一 工 学	准教授	尾 関 和 秀	生体材料、薄膜形成法、無機材料
		〃	清 水 年 美	分布定数系の振動制御、機械力学、制御工学、メカトロニクス、ロボット工学
		〃	松 田 健 一	メカトロニクス、電磁気応用システム
		〃	山 崎 和 彦	レーザ加工、微細加工
		助 教	小 林 純 也	塑性加工、金属組織制御
専攻	[連携大学院方式] 動力エネルギー シス テム	教 授	稻 垣 照 美	熱工学（自然対流・共存対流熱伝達、乱流熱伝達）、赤外線工学、生体熱工学
		〃	金 野 満	エンジン燃焼、次世代燃料、燃焼工学、自動車工学
		〃	田 中 伸 厚	数値流体解析（CFD）、海洋エネルギー、原子力工学、環境工学
		准教授	松 村 邦 仁	熱工学、熱流体工学、気液二相流
		〃	西 泰 行	流体工学、流体機械
		〃	田 中 光 太 郎	熱工学、燃焼工学、レーザー計測
		助 教	李 艷 栄	熱流体工学
		教 授	二 川 正 敏	原子炉構造物の振動・強度
		〃	鈴 木 哲	核融合炉構造健全性
		准教授	秋 江 拓 志	原子炉物理学
電気電子工学生	電 子 基 礎 工 学	教 授	今 井 洋	光カオス、テラヘルツ技術、光ファイバセンシング
		〃	島 影 尚	超伝導エレクトロニクス
		〃	宮 嶋 照 行	通信方式、信号処理
		〃	鵜 殿 治 彦	電子材料、半導体デバイス、シリサイド半導体
		〃	和 田 達 明	数理工学、統計力学
		准教授	木 村 孝 之	撮像デバイス、集積回路
		〃	青 野 友 祐	固体物性、ナノサイエンス
		〃	横 田 浩 久	光エレクトロニクス、光通信システム
	[連携大学院方式] 光 通 信 工 学	教 授	泉 田 史	光通信システム、光計測技術とシステム応用
		〃	白 木 和 之	アクセス系光ファイバーネットワーク
		准教授	辻 川 恭 三	光通信デバイス

専攻	分 野	職 名	氏 名	担当分野（講義又は研究）
電気電子工学専攻	電磁システム工学	教 授	垣 本 直 人	電力システム
		〃	栗 原 和 美	電気・機械エネルギー変換工学、永久磁石モータ
		〃	三 枝 幹 雄	核融合理工学、高周波工学
		〃	柳 平 丈 志	高電圧パルスパワー工学
		准教授	堀 井 龍 夫	交流電動機、ヒステリシス現象
		〃	金 谷 範 一	電子制御システム、分散オブジェクトによる計算機制御
		〃	祖 田 直 也	電磁界数値解析、非線形材料特性
		〃	宮 島 啓 一	確率システム論、形式化数学
		〃	鵜 野 将 年	パワーエレクトロニクス
		講 師	鈴 木 健 仁	電磁波工学、アンテナ工学
		〃	田 中 正 志	エネルギー変換
メディア通信工学専攻	メディアシステム学	教 授	辻 龍 介	レーザ工学、数値シミュレーション
		〃	武 田 茂 樹	無線通信システム、アンテナシステム
		〃	赤 羽 秀 郎	ゆらぎ現象の理論と応用
		准教授	鵜 野 克 宏	レーザ応用計測、光情報処理
		〃	上 原 清 彦	ファジィ理論、計算知能工学
		〃	矢 内 浩 文	人間情報学、数理脳科学
	メディア機能工学	教 授	杉 田 龍 二	情報ストレージ技術、磁気記録デバイス
		〃	梅 比 良 正 弘	ワイヤレスネットワーク、無線応用
		准教授	小 峰 啓 史	機能材料工学、デバイス工学
		〃	那 賀 明	光通信工学
		〃	中 村 真 納	レーザ光学、レーザ開発、非線形ファイバ工学
		〃	山 田 光 宏	1/f ゆらぎ応用、自己組織的信号処理
		講 師	塚 元 康 輔	アナログ/デジタル信号処理
情報工学科専攻	情報工学	教 授	上 田 賀 一	ソフトウェア工学、ソフトウェアモデル検証
		〃	鎌 田 賢	パターンの近似・分析の理論、情報システム応用
		〃	岸 義 樹	知識・概念処理、協調型思考支援システム
		〃	黒 澤 韶	情報セキュリティ
		〃	新 納 浩 幸	自然言語処理、機械学習、Web アプリケーション
		〃	外 岡 秀 行	リモートセンシング、画像処理、空間情報システム
		〃	羽 別 裕 真	通信の方式と理論に関する研究
		〃	米 倉 達 広	仮想現実感と仮想都市機能、Web 応用システム
		准教授	大 瀧 保 広	コンテンツ流通、ネットワークシステム
		〃	藤 芳 明 生	形式言語理論、グラフアルゴリズム
		〃	山 田 孝 行	適応学習システムに関する研究
		〃	米 山 一 樹	暗号理論、プライバシ保護
		講 師	岡 田 信 一 郎	知的データベース、e-Learning
		〃	古 宮 嘉 那 子	データマイニングや自然言語などの知識処理
		〃	佐 々 木 稔	自然言語処理システム、情報検索モデル
		助 教	石 田 智 行	VR、AR、自然災害科学、防災管理支援
		〃	芝 軒 太 郎	生体信号解析、マンマシンインターフェース、医用福祉システム

専攻	分 野	職 名	氏 名	担当分野（講義又は研究）
都 市 シ ス テ ム 工 学 専 攻	都市システム 工学コース	教 授	沼 尾 達 弥	コンクリートのクリープ・乾燥収縮及び耐久性改善、産業廃棄物の利用、赤外線法による非破壊検査
			金 利 昭	交通行動分析と交通政策、生活・交通空間の計画と設計、人間の生涯発達・ライフスタイルからみた国土・地域計画論
			山 田 稔	道路交通の安全性・円滑性の向上に関する研究、高齢者・障害者にやさしいまちづくり
			小 林 薫	環境地盤工学、不飽和地盤工学、地下空間利用技術に関する研究、持続可能な地下水資源に関する研究
			吳 智 深	計算力学、構造工学、インテリジェントインフラストラクチャ工学、既存構造物のヘルスモニタリング、制御および補強技術
			横 木 裕 宗	沿岸域の物理環境解析、沿岸域における気候変動への適応策
			桑 原 祐 史	衛星リモートセンシングデータの処理／解析技術、各種国土情報の計測・解析、CO ₂ 濃度と地域特性の分析技術
			井 上 凉 介	地震工学（特に、石油タンク浮屋根の耐震設計、長周期地震動特性に関する総合研究）
			原 田 隆 郎	社会基盤施設の維持管理工学／AL（人工生命）技術を利用したマネジメントシステムの開発
			村 上 哲	地盤災害の予測手法の高度化と災害の防止・低減技術の開発
			信 岡 尚 道	海岸・沿岸工学／防災・利用・環境を統合した沿岸管理計画そのための統合シミュレーションモデルの開発
			藤 田 昌 史	都市環境工学（分子生物学的手法を利用した水処理モデルの開発、バイオマーカーを用いた廃棄物処分場の安定化診断）
			熊 澤 貴 之	景観・都市デザイン、建築まちづくり
			平 田 輝 満	交通システム工学、運輸政策、都市・交通システムの環境影響評価、災害時交通運用、航空交通と空港計画
			車 谷 麻 緒	計算力学・応用力学・構造物の非線形数値解析法
		助 教	一 ノ 瀬 彩	建築意匠、都市空間デザイン、地域プランディング
サステイナビリティ学コース		サステイナビリティ学コースは、原則として都市システム工学専攻全教員が必要に応じて担当する。		

専攻	分 野	職 名	氏 名	担当分野（講義又は研究）
知能システム工学科専攻	知能機械システム	教 授	馬 場 充	3次元画像計測、知能化センシング
		〃	青 島 伸 一	移動ロボットの機構と制御、福祉工学
		〃	森 善 一	介護福祉ロボティクス、感性ロボティクス、メカトロニクス
		准教授	城 間 直 司	移動ロボット、遠隔操作技術、コンピュータビジョン
		〃	福 岡 泰 宏	ダイナミックロボット、歩行ロボット
		講 師	中 野 博 民	パワーエレクトロニクス及び電子回路並びに制御システム
		〃	井 上 康 介	生物模倣型ロボット、ロボットによる学習・適応
知能生産システム工学科専攻	知能生産システム	教 授	乾 正 知	高速・高精度な図形処理技術、図形処理技術の機械製造自動化への応用
		〃	周 立 波	精密工学、ナノファブリケーション、計測・評価技術
		〃	清 水 淳	マイクロ・ナノライオロジー、超精密加工
		〃	長 山 和 亮	生体医工学、メカノバイオロジー、マイクロ・ナノ計測・操作
		准教授	小 貫 哲 平	ナノ材料、マイクロシステム工学、光応用生産技術
		〃	中 村 雅 史	環境調和型設計、高分子材料の強度信頼性
		講 師	尾 嵐 裕 隆	画像処理・計測、制御
知能情報システム工学科専攻	知能情報システム	教 授	星 野 修	脳科学、ニューラルネットワーク、数理神経心理学
		〃	楊 子 江	不確かさを有するシステムの適応学習制御、制御システムのモデリングと同定
		〃	坪 井 一 洋	数値流体力学、オブジェクト指向シミュレーション
		准教授	鈴 木 智 也	非線形時系列解析、複雑系、カオス、人工知能
		〃	竹 田 晃 人	乱雑系の統計物理学及びその情報科学への応用
		講 師	近 藤 久 久	計算機科学、情報工学、知能情報学
		〃	梅 津 信 幸	情報科学（画像検索、データ圧縮）
		〃	岩 崎 唯 史	数理生体科学、生物物理学、非線形科学
		〃	関 根 栄 子	確立システムの制御とモデル化
		教 授	岡 裕 和	発展方程式、作用素半群
共通講座	工 学 基 础	〃	菊 地 賢 司	環境に残留する福島原発由来の放射性物質の固定・評価研究、長寿命核廃棄物の処理・処分における核変換材料研究、中性子回折による残留歪み評価研究
		〃	平 澤 剛	関数解析学、非有界作用素
		〃	村 上 雄 太 郎	言語の対照研究と日本語教育
		准教授	植 木 誠 一 郎	解析関数空間論
		〃	細 川 卓 也	関数解析学、解析関数空間上の作用素
		講 師	伊 多 波 正 徳	コンピュータを利用した物理教育に関する研究

VI. 入学案内

以下の入学手続等に関することは、入学願書提出先にお問い合わせください。

1. 入学手続、入学料及び授業料

(1) 入学手続期間

入学手続きの詳細については、2月下旬に合格者へ通知します。

(2) 入学手続きの際に納入する金額は、次のとおりです。

入学料 282,000円

(3) 授業料は、入学後、4月末日までに前期分を納入いただきます。

半期分 267,900円 (年額 535,800円)

納入方法は、入学後に別途通知します。

※ 入学料、授業料の納入が経済的理由により困難で、かつ学業優秀な者、又は風水害の被災等の特別な事情のある者には、選考の上、全額または半額の免除が認められる制度があります。

※ 入学手続きまでに入学料及び授業料の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用されることになります。

※ 在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

2. 修了認定及び学位

理工学研究科博士前期課程に2年以上在学し、各専攻所定の科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで学位論文審査並びに最終試験に合格した者には、次の修士の学位が授与されます。

ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとします。

所 属	学 位
機械工学専攻、電気電子工学専攻、メディア通信工学専攻、 情報工学専攻、都市システム工学専攻、知能システム工学専攻	修士（工学）

3. 教員免許状

学部において、すでに教諭1種免許状の授与資格を得ている者は、博士前期課程を修了することで、申請により専修免許状を取得することができます。

○工業に係る高等学校教諭1種免許状の授与資格を得ている者

工学系各専攻のいずれかを修了すれば、工業の高等学校教諭専修免許状が取得できます。

4. 長期履修学生制度

社会人特別入試に合格した者で、職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを申し出た時は、学長の許可が得られることがあります。

なお、入学年度から希望する場合は、入学手続き完了の日から3月末日までに申請することになっています。

5. 入学料免除制度

以下のような場合、本人の申請と選考により、入学料の全額又は半額が免除されることがあります。

- (1) 経済的理由により入学料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合
- (2) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

6. 入学料の徴収猶予制度

以下のような場合、本人の申請と選考により、入学料の徴収が猶予されることがあります。

- (1) 経済的理由により入学料の納入期限（入学手続き期間）までに納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合
- (2) 入学前1年以内において、大学等に入学する者の学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納入期限（入学手続き期間）までに納入が困難であると認められる場合
- (3) その他やむを得ない事情があると認められる場合

7. 授業料免除制度

以下のような場合、本人の申請と選考により、授業料の全額又は半額が免除されることがあります。

- (1) 経済的理由により授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合
- (2) 授業料の各期ごとの納期前6月以内（新入学生に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は、入学前1年以内）又は納期中において、学生の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、又は学生若しくは学資負担者が風水害の災害を受け、授業料の納入が著しく困難であると認められる場合
- (3) 前号に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

8. 日本学生支援機構奨学金制度

日本学生支援機構からの奨学金の貸与を希望する者は、申請により規定に基づき選考のうえ、貸与されます。貸与月額は、平成27年度入学者の例で、大学院第一種奨学生で88,000円又は50,000円の何れか希望する額です。

9. 保険制度

学生教育研究災害傷害保険は、学生が教育研究活動中に、不慮の事故や災害に遭った場合の保険制度として、国公私立を含めた全大学生を対象にした全国的な保険制度です。

また、学研災付帶賠償責任保険は、学生が正課、学校行事及びその往復中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償が補償される制度です。

- | | |
|------------------|------------------|
| (1) 学生教育研究災害傷害保険 | 2年間分 2,100円 |
| (2) 学研災付帶賠償責任保険 | 2年間分 680円 (Aコース) |

なお、外国人留学生が民間アパートを借りる場合、入居保証人に迷惑がかからないようにするために、「留学生住宅総合補償」制度があります。

詳しくは、留学生担当窓口（工学部学務第二係）へお問い合わせください。

平成28年度 茨城大学大学院理工学研究科
博士前期課程入学志願者名票

		受験番号	※					
志望専攻	専攻							
志望コース	都市システム工学専攻のみ コース							
志望指導教員名	◇志望指導教員には、事前に連絡を取っておいてください。							
フリガナ 氏名		男 ・ 女	生年 月日	昭和 平成	年	月	日(才)	
出願資格	大学 学部 学科 高等専門学校 学科・専攻					昭和・平成 年 月 卒業・卒業見込 修了・修了見込		
合格通知書等	〒 -	TEL () -					呼出方	
受信場所	住所							
連絡先	〒 -	TEL () -					呼出方	
	住所					本人との 関係		
フリガナ								
氏名								
学歴	年 月 年 月	在学年数 年	入学 同校卒業					
	年 月 年 月	年	入学 同校卒業(修了)・見込					
	年 月 年 月	年						
	年 月 年 月	年						
	年 月 年 月	年						
	年 月 年 月	年						
職歴	年 月 年 月	在職年数 年						
	年 月 年 月	年						

記入上の注意 1 ※印の欄は、記入しないでください。

2 学歴は、高等学校以上を記入してください。ただし、国外の大学を卒業又は卒業見込みの者は、小学校から記入してください。また、国内の大学で研究生の経験のある者は、学歴欄に記入してください。虚偽の記入をした者は、入学を取り消すことがあります。

平成 28 年度
 茨城大学大学院理工学研究科
 博士前期課程 程
 受験票

推薦入試用

受験番号	※	
志望専攻	専攻	
志望コース	都市システム工学専攻のみ コース	
フリガナ 氏名		男・女

平成 28 年度
 茨城大学大学院理工学研究科
 博士前期課程 程
 写真票

推薦入試用

受験番号	※	
志望専攻	専攻	
志望コース	都市システム工学専攻のみ コース	
フリガナ 氏名		男・女

写真

写真を貼る前に
裏面に氏名を記入
してください。

記入上の注意

- 1 ※印の欄は、記入しないでください。
- 2 氏名は、戸籍又は住民票のとおり記入してください。
- 3 写真は、縦4cm×横3cm正面上半身無帽で、出願前3か月以内に撮影したもの
を貼付してください。

推薦入試用

受験番号	※
------	---

推薦書

平成 年 月 日

茨城大学長 届

大学・学部名 _____

又は高等専門学校・専攻名 _____

所在地 _____

推薦者職名 _____

推薦者氏名 _____ (印)

下記の者は、当大学（学部）・高等専門学校専攻科における学業成績が優秀であり、貴学の大学院理工学研究科博士前期課程の入学者として、ふさわしい資質を持つ者として推薦します。

記

志願者氏名 _____ 生年月日 昭和 年 月 日 生
平成 年 月 日 生

志望専攻名 _____ 専攻

志望コース 都市システム工学専攻のみ _____ コース

推薦理由

注： 推薦理由については、志願者の特性が良くわかるよう、勉学や卒業研究への取り組みの状況、大学院での志望研究分野と研究遂行能力に対する所見などについて、具体的に記入してください。用紙が不足する場合は、別紙に記入してください。

平成28年度 茨城大学大学院理工学研究科
博士前期課程入学志願者名票

		受験番号	※	
志望専攻	専攻			
志望コース	都市システム工学専攻のみ コース			
志望指導教員名	◇志望指導教員には、事前に連絡を取っておいてください。			
フリガナ 氏名		男 ・ 女	生年 月日	昭和 平成 年 月 日(　才)
出願資格	大学 高等専門学校	学部	学科	昭和・平成 年 月 卒業・卒業見込 修了・修了見込
合格通知書等	〒 -	℡ () -	呼出方	
受信場所	住所			
連絡先	〒 -	℡ () -	呼出方	
	住所			本人との 関係
	フリガナ 氏名			
学歴	年 月 年 月	在学年数 年	入学 同校卒業	
	年 月 年 月	年	入学 同校卒業(修了)・見込	
	年 月 年 月	年		
職歴	年 月 年 月	在職年数 年		
	年 月 年 月	年		

記入上の注意 1 ※印の欄は、記入しないでください。

2 学歴は、高等学校以上を記入してください。ただし、国外の大学を卒業又は卒業見込みの者は、小学校から記入してください。また、国内の大学で研究生の経験のある者は、学歴欄に記入してください。虚偽の記入をした者は、入学を取り消すことがあります。

平成28年度 茨城大学大学院理工学研究科
博士前期課程入学志願者名票

		受験番号	※	
志望専攻	専攻			
志望コース	都市システム工学専攻のみ コース			
志望指導教員名	◇志望指導教員には、事前に連絡を取っておいてください。			
フリガナ 氏名		男 ・ 女	生年 月日	昭和 年 月 日 (才)
出願資格	大学 高等専門学校	学部	学科	昭和・平成 年 月 卒業・修了
合格通知書等 受信場所	〒 -	TEL () -	呼出方	
勤務先	会社(機関)名			
所在地	〒 -	TEL () -		
学歴	年 年	月 月	在学年数 年	入学 同校卒業
	年 年	月 月	年	入学 同校卒業・修了
	年 年	月 月	年	
	年 年	月 月	年	
	年 年	月 月	年	
	年 年	月 月	年	
職歴	年 年	月 月	在職年数 年	
	年 年	月 月	年	

記入上の注意 1 ※印の欄は、記入しないでください。

2 学歴は、高等学校以上を記入してください。ただし、国外の大学を卒業又は卒業見込みの者は、小学校から記入してください。また、国内の大学で研究生の経験のある者は、学歴欄に記入してください。虚偽の記入をした者は、入学を取り消すことがあります。

平成 28 年度
茨城大学大学院理工学研究科
博 士 前 期 課 程
受 験 票

受 験 番 号	※	
志 望 専 攻	専 攻	
志 望 コース	都市システム工学専攻のみ コース	
フリガナ 氏 名		男 ・ 女

平成 28 年度
茨城大学大学院理工学研究科
博 士 前 期 課 程
写 真 票

受 験 番 号	※	
志 望 専 攻	専 攻	
志 望 コース	都市システム工学専攻のみ コース	
フリガナ 氏 名		男 ・ 女

写 真

写真を貼る前に
裏面に氏名を記入
してください。

記入上の注意

- 1 ※印の欄は、記入しないでください。
- 2 氏名は、戸籍又は住民票のとおり記入してください。
- 3 写真は、縦4cm×横3cm正面上半身無帽で、出願前3か月以内に撮影したもの
を貼付してください。

社会人特別入試用

受験番号	※
------	---

推 薦 書

平成 年 月 日

茨城大学長 殿

所 在 地 _____
会社（機関）名 _____

所属長職名・氏名 _____
(指導教員) _____

下記の者は、貴学の大学院理工学研究科博士前期課程の入学者として、
ふさわしい資格を持つ者として責任をもって推薦します。

記

志願者氏名	生年月日	昭和 年月日 生
志望専攻名	専攻	
志望コース	都市システム工学専攻のみ	コース

入学志願者の人物、在職中における本人の業績（業務年数・業務内容等）、入学後の
身分措置等について具体的に記入してください。

推 薦 理 由	
------------------	--

※印の欄は、記入しないでください。

社会人特別入試用

志望理由書

			受験番号	※
志望専攻	専攻	氏名		
志望コース	都市システム工学専攻のみ コース			

--

茨城大学大学院理工学研究科

※印欄は記入しないでください。

平成28年度茨城大学大学院理工学研究科博士前期課程
入学試験入学資格個別審査申請書

平成 年 月 日

志望専攻	専攻		
志望コース	コース		
フリガナ	性別	男・女	
氏名			
生年月日	年	月	日生(歳)
フリガナ			
現住所	〒		
連絡先	TEL() -		
添付書類	1. 最終学校の「学業成績証明書」 2. 最終学校の「卒業(修了)証明書」 3. 「経歴書」 4. 「入学希望理由書」		

平成28年度茨城大学大学院理工学研究科博士前期課程
経歴書

平成 年 月 日

氏名	印男・女
生年月日	年月日生

学歴			
初等教育 (小学校)	学校名	年月入学	修学年数
		年月卒業	____年
中等教育 (中学校) (高等学校)	学校名	年月入学	修学年数
		年月卒業	____年
	学校名	年月入学	修学年数
		年月卒業	____年
学校名	年月入学	修学年数	
	年月卒業	____年	
高等教育 (大学) (大学院)	学校名	年月入学	修学年数
		年月卒業	____年
以上を通算した全ての学校教育修学年数：____年			

経歴「最終学校卒業（修了）後の経歴」

期間 (年月～年月)	内容

※最終学校卒業（修了）後の職歴、学習歴、実務経験及び活動歴等を年代順に記入するとともに、その内容についても詳しく記入してください。

平成 28 年度茨城大学大学院理工学研究科博士前期課程
入 学 希 望 理 由 書

平成 年 月 日

氏 名 印

下記の理由により茨城大学大学院理工学研究科博士前期課程 専攻への
入学を希望します。

記

※希望理由、入学後の研究計画等について詳細を記入してください。

出願資格個別事前審査
結果通知用

推薦・一般入試・特別入試
合格通知書用

推薦・一般入試・特別入試
入学手続書類用

連絡用

□	□	□	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---

□	□	□	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---

□	□	□	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---

□	□	□	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---

宛名票

○ ○ ○ 住所は合格通知書等及び入学手続書類等を受取る場所を記入してください。
※ 欄は志願者本人の氏名を記入してください。

殿

殿

殿

殿

受験番号	*	
------	---	--

受験番号	*	
------	---	--

受験番号	*	
------	---	--

受験番号	*	
------	---	--

コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法

下記のコンビニ端末にてお支払いください（インターネット登録不要）

1

お申込み

⑦セブン-イレブン マルチコピー機

<http://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。

TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



*2015年4月時点の画像です。

LAWSON Loppi[®]

MINISTOP

Loppi[®]

<http://www.lawson.co.jp>

<http://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。

TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。



「各種申込（学び）」を含むボタン

学び・教育・各種検定試験

大学・短大・専門、小・中・高校等お支払い

あなたと、コンビニ。
FamilyMart

Famiポート

<http://www.family.co.jp>

最寄りの「ファミリーマート」にある「Famiポート」へ。

TOP画面の「申込・請求（学び・教育）」よりお申込みください。



K

ケイステーション

Kstation[®]

<http://www.circlemunkus.jp>

最寄りの「サークルK・サンクス」にある「Kステーション」へ。

TOP画面の「学び・申込」よりお申込みください。



学び・申込

各種（入学検定料等）のお支払い

茨城大学大学院

をタッチし、申込情報を入力して「払込票／申込券／受付票」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。



2

お支払い

コンビニのレジでお支払いください。

- 端末より「払込票」（マルチコピー機）または「申込券」（Loppi、Famiポート）または「受付票」（Kステーション）が
出力されますので、30分以内にレジにてお支払いください。
- お支払い後は「取扱明細書」（マルチコピー機、Kステーション）または「取扱明細書兼領収書」（Loppi、Famiポート）を
受け取ってください。



*出願期間最終日の支払受付時間は15時までとなります。

*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。

*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。

*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

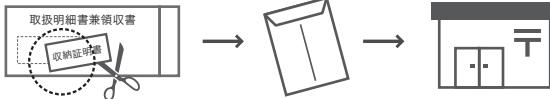
払込手数料	入学検定料が5万円未満	432円
	入学検定料が5万円以上	648円



3

出願

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の
「収納証明書」部分を切り取り、
他の出願書類とともに提出してください。





JR 日立駅(中央口)から 日立電鉄バス、中央線経由「平和台行 3」又は「小咲台行 4」に乗車、「茨大前」で下車。

JR 常陸多賀駅から 日立電鉄バス、中央線経由「日立駅行 3」又は「日立駅行 4」に乗車、「茨大前」下車。いずれもバス乗車時間は約 20 分。

〒316-8511 日立市中成沢町 4-12-1

■ 工学部入試係 TEL : 0294 - 38 - 5010

日立地区(工学部)配置図



- 学務係及び保健管理センター日立分室(保健室)は、E 1 棟にあります。
- IT基盤センターは、E 5 棟にあります。
- 食堂、書籍部及び購買部は、E 7 棟にあります。
- 学生掲示板は、E 1 棟内にあります。

駐輪場
自動二輪車等置場

茨城大学大学院 理工学研究科入試係

茨城大学ホームページ

<http://www.ibaraki.ac.jp/>

理工学研究科ホームページ

<http://www.gse.ibaraki.ac.jp/>

〒316-8511 日立市中成沢町4丁目12番1号